

●東京都議会議員 **現職** 2期目／自由を守る会

上田 令子

うえだ
れいこ

緊急!!
レポート



～ズルいことは、ゆるさない。常時改革実現中!～

〒134-0091 東京都江戸川区船堀2-11-18 tel&fax 03-3878-9032 ✉uedareiko@gmail.com

上田 令子

検索



▼東京都公式動画より 都TVCM動画を紹介



小池百合子都知事 独断無策をゆるさない。

年 明け早々1月2日、東京、千葉、神奈川、埼玉4都県知事による政府への緊急要望の後、政府による「緊急事態宣言」が発出されました。各取組へのご理解ご協力に心から感謝申し上げます。

さて、緊急事態措置について各県では、議会へ即通知、時短協力事業者への支援策予算の臨時議会を開き、議論の末に決定しましたが、都では、正式な情報提供もないまま、小池知事が時短協力金 1.528 億円補正予算を議会にはかることなく大手チェーン店を除外して「専決処分」。神奈川、埼玉では支給されているというのに、東京から“排除”された大手経営者から声から上がり社会問題に発展。世論に負けて自分で下した専決を自分でひっくり返し、慌てて支給定昇を追加するという愚行を繰り返しています。この「独断専行」は、議会と都民を軽視する大問題!

わ たし上田は小池都政と是々非々で臨む唯一無二の都議会議員として、早くから第三波の兆候や小池都政の問題点を指摘しておりました。それら、ゆるされざる独断無策の数々を改めてここにお示いたします。

知事退職金満額 3500 万円! コッソリ受け取っていました

コロナ禍に苦しむ都民をよそに、小池知事が2020年8月21日、まんまと巨額の退職金を受け取っていたことが上田独自調査で判明。その驚きの金額は **34,944,000 円** (税込み/条例上の満額!)。2020年7月の都知事選挙の公約に「都知事給与の50%カットの継続(全国最低給与)」と掲げていながら、半額ではなく満額給与換算で当選後に受領。巨額の退職金を知事選挙前に「都民ファースト」一丁目一番地の政策と掲げた「情報公開」もせずに、そっくり掌中に収めていたわけです。ネットメディアでは広く取り上げられるも都庁記者クラブでは誰もこの点を追及しない体たらく。

ペンはいつから
剣より弱くなったのでしょうか。

都民ファースト発

コロナ“罰則ファースト”条例 見送りへ追い込む!

小池知事が特別顧問を務める『都民ファーストの会』は、全国初!をうたい、罰則付『東京都新型コロナウイルス感染症対策強化に関する特別措置条例』を第四回定例会に提案予定でしたが、持続的経済支援も世界的な根治療法も確立していない中、罰則ありきの条例に対し、都民から「どうやって誰が他の人に感染させたことが立証できるのか?」「客足減で経営難のため時短営業に協力できなかった店に罰金?」との批判が殺到。上田独自のアンケート調査でも9割方が「反対」と判明し、問題点の周知に動いたところ、都ファは条例新設から条例改正へと急ぎ、路線変更するも、都民・国民の声が次々に都議会にも届き始め、とうとうこの前代未聞の国の動きさえ無視した条例改正案の提案を断念。わたしたちの行動で、事実上の廃案に追い込むことができました。

次の議会でも
罰則再提案は
ゆるしません。



退職者続出!!

“傍若無人”人事に「行政崩壊」を危惧

2020年7月、鳴り物入りで設置した『福祉保健局健康危機管理担当局』局長が直後に退任し、8月になぜか元政策企画局次長が就任しました。その後、感染

症の専門家（公衆衛生医師）であった同局部長は8月末に突如退職。今年1月からの福祉保健局退職者（定年等除く）は76名を数えます。また、『築地と豊洲』著者で都環境公社理事長の澤章氏（元都庁幹部）は、わずか1年4カ月で退任勧告。前代未聞の「組織崩壊緊急事態」が小池都政で頻発しています。『東京版 CDC』『モニタリング会議』『アドバイザリーボード』…次から次に実態の伴わぬ各界著名人を登用した目新しい組織を作って、知事存在感＝「やった感」を出すのは、小池知事が得意とするところ。豊洲市場移転問題でも『市場問題プロジェクトチーム』『市場のあり方戦略本部』等、論点をはぐらかし「前向き感」を演出するだけの会議体を乱立させ、都政と都民に著しい混乱を生じさせています。今また屋上屋を重ねる愚策が人事で進行しているではありませんまいか。わたしは、保健所機能の強化と現場の支援、政府や区市町村と連携・協力して二重・三重行政をやめるべきと、都民と共に何度も求めてきました。水道局や交通局などまで動員して管理職31名、一般職員

医療崩壊に加え職員達が疲弊しないか、自殺者、退職者、長期病欠者が続出しないか常に注視しております。

109名、計140名がiCDC、保健所、宿泊療養施設（ホテル等）の業務で残業が大幅増加しています。

小池都政CM&ことば遊びかるた 総額11億円！

2020年の緊急事態宣言直前のフライング発言も記憶に新しい小池知事の「感染拡大の重大局面」「ロックダウン」「オーバーシュート」「ステイホーム」「ハンマー&ダンス」「五つの小」…横文字カタカナ、ことば遊び多用の違和感が、激のように溜まってきたところの『ウィズコロナ東京かるた』は、一気に都民・国民感情を



逆なでしたようで、「こんなことに税金つかうな！」といった抗議の声が上田に寄せられました。独自調査の結果、(株)ティーフォックスとの特命随意契約他による制作費は3,899,280円。また、緊急事態宣言中や、旅行・帰省など自粛を求めた「特別な夏」に、都民の在宅を狙ってバンバン流した知事本人CM、有名YouTuberとのコラボ動画等広告費の総額は、驚愕の**11.1億円**にのぼりました！！

コロナ禍に乗じた小池都政広告費11億円の内訳

会社名	総 額	内 訳		
		テレビ・ラジオCM 電波料	ウェブ広告費	テレビ・ラジオCM ウェブ広告の制作費
会 社 名	約11億円	約8.3億円	約2.2億円	約5千万円
(株)博報堂	約4億6060万円	約4.6億円		約60万円
(株)電通	約3億7090万円	約3.7億円		約90万円
(株)JS BDDO	約1億1800万円		約0.8億円	約3,800万円
(株)アドフロンテ	約8000万円		約0.8億円	
(株)読売広告社	約6000万円		約0.6億円	
(株)毎日映画社	約790万円			約790万円
(株)キッズ	約180万円			約180万円
(株)ADK マーケティングソリューションズ	約90万円	約30万円		約60万円
(株)文化工房	約50万円			約50万円
アークベル(株)	約30万円			約30万円

※CM：2020年4月9日～2021年3月31日迄9件
WEB広告：2020年4月15日～2021年3月31日迄5件

この金額を、コロナ禍に苦しむひとり親家庭や独居高齢者世帯、冷暖房支援等困窮世帯へ回すべきでした。大晦日に1300人、その後も2000人台となり過去最多を更新したことを鑑みれば、巨額の広告費に、なんら効果はなかったと断じさせていただきます。

Reiko's Voice

「専決処分」乱発＝独断先行を最多質問でゆるさない

上田の総括

「地獄への道は善意で舗装されている」という言葉があります。世の中が混乱すると、強権的なものに人々は惹かれるものです。都民や議会にはからず「専決処分」を乱発し、“日本初”にこだわって罰則付き条例を提案…「都民ファースト」が何を最優先としているか、わたしも含め都議会全体、東京都民も心眼をもって真贋を見極めなければなりません。小池知事は2020年3月下旬、緊急事態宣言直前の3連休前にも、東京五輪への影響を懸念してか都民への注意喚起を避けています。五輪開催したいがゆえの忖度でしたが、今回も同じ構図。本来は2000人超の感染者を出す前にGO TOの一時停止を求めるべきだったのに、何に忖度してか、都民の健康と命を後回しした上、責任を全て政府に転嫁しているとしたらゆるされることはありません。

今後も、議会史上過去最多級の質問を続けている上田は「ジックリ調査、シッカリ質問、キッチリ報告」を肝に銘じ、令和3年度予算のコロナ禍に乗じた無駄、不正・癒着、バラマキをゆるさないことをお約束いたします。

新型コロナウイルス感染症に関する相談先

●東京都発熱相談センター
(24時間／土日祝日を含む毎日)

03-5320-4592

●東京都
新型コロナウイルス
感染症 支援情報ナビ



都議会-NEWS

2021
臨時号

発行人／
東京都議会議員〈江戸川区選出〉上田令子

うえだれいこプロフィール

台東区立黒門小、文京区立第六中、都立三田高、白百合女子大國文科卒。外資系生保等数社を経て起業も。2007～12年江戸川区議会議員、2013年東京都議会議員初当選、17年2期連続再選。現在公営企業委員会所属。
『自由を守る会』代表。

皆様の声
お寄せ下さい！

